



クイックリファレンス

このマニュアルは以下の手順を簡潔に説明しています。

- デバイスプロファイルの作成
- Raster Link シリーズへのプロファイルのインストールとアンインストール

MPM II のインストール方法は、別冊のインストールガイドを、
詳細な取扱方法については、別冊のリファレンスガイドをご覧ください。

プロファイルについて

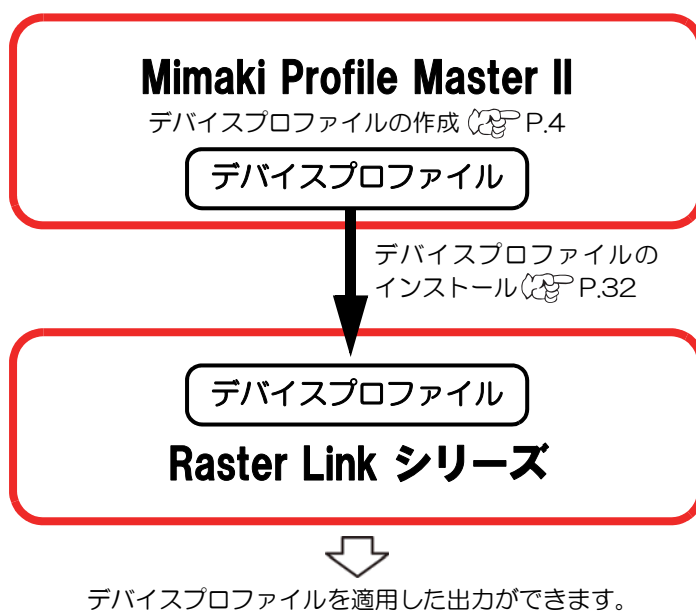
RasterLink シリーズで使用する出力プロファイルを“デバイスプロファイル”と呼びます。MPM II で作成できるプロファイルは、以下の 2 種類です。

- RasterLinkPro ～ RasterLinkPro5 で使用される、拡張子が [cot] のファイル
- RasterLinkProII v3 以降の RasterLink シリーズで使用する拡張子が [icc] のファイル

拡張子が cot のデバイスプロファイルは、Raster Link シリーズ用の独自フォーマットのファイルで、RIP 処理に必要な様々な情報が書き込まれています。

また、拡張子が icc のデバイスプロファイルは、ICC 準拠のフォーマットで Mimaki 独自の情報が追加されています。ICC プロファイルに対応した他社 RIP アプリケーションで出力プロファイルとして使用できます。

MPM II で作成したデバイスプロファイルを Raster Link シリーズにインストールすることによって、作成したデバイスプロファイルを適用した出力ができます。



MPM II トライアル版の制限事項

MPM II トライアル版を使用する場合、以下の制限があります。

- 使用期間は 60 日間です。
- メディア登録ができません。
- CMYK カラー、RGB カラー、モニターの ICC プロファイルを作成する機能が使用できません。

重要!

- ◆ MPM II は 2 つのdongleを使用します。
黒色のdongle (MPMI dongle) を使用しないと
トライアル版として起動します。
紫色のdongle (ProfileMaker dongle) を使用しないと
MeasureTool5.0 と ColorPicker5.0 がデモモードで起動します。

MPM II を起動する



1

をダブルクリックし、MPM II を起動します。

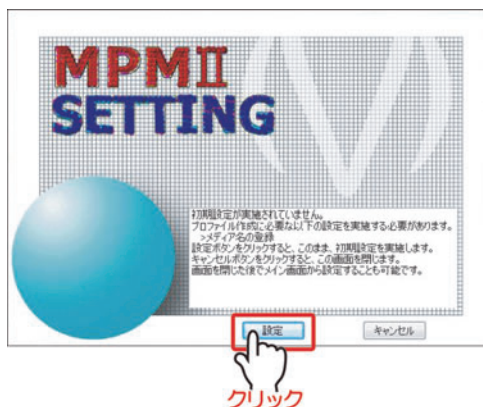
はじめてMPM IIを起動すると右の画面を表示します。



◆ 2 回目以降の起動時でも、メディア名登録、測色器選択をしていない場合は、右の画面を表示します。

2

設定 をクリックし各種設定をします。



◆ 「>> メディア名の登録」「>> 測色器の選択」設定方法について、詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

デバイスプロファイル作成の流れ

◆ フォーマットの選択 P.6

お使いの Raster Link によって、デバイスプロファイルのフォーマットを選択します。

Raster Link Pro II Ver.3 以降の Raster Link シリーズの場合：プロファイル (V3) を選択

RasterLinkPro5 以前の RasterLink シリーズで使いたい場合：プロファイル (V2) を選択

◆ プロファイル条件の設定 P.7

デバイスプロファイルを作成するときの条件（プリンタ、インクセット、解像度など）を設定します。

◆ メディア固有情報の設定 P.9

必要な場合は、メディア固有情報（メディア補正值、ヒーター温度など）を設定します。

◆ 拡張固有情報の設定 P.10

必要な場合は、拡張固有情報（UV 照度設定）を設定します。

◆ バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ） P.11

出力するインクセットに合ったバリアブルドットを選択し、出力確認します。

「フォーマットの選択」で選んだフォーマットによって作成手順が変わります。

プロファイル (V3) を選んだ場合

プロファイル (V2) を選んだ場合

◆ 全体のインクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） P.12

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ インクリミットの設定（プロファイル (V2) を選んだ場合） P.14

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ） P.16

メディアに合ったライトインクの使用方法を選択し、出力確認します。

◆ リニアライゼーションの自動調整 (P.17)

チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。自動調整された CMYK 各色のグラデーションがなめらかになっているかを出力確認します。

◆ 全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

(P.12)

チャートを出力して、3次色のインクリミットを調整します。

◆ グレーバランスの自動調整 (P.21)

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを出力確認します。

◆ グレーバランスの自動調整 (P.21 (昇華転写インク選択時のみ))

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを出力確認します。

◆ ICC プロファイルの作成 (P.23)

チャートを出力、測色することによって、ICC プロファイルを作成します。

◆ キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

(P.27)

チャートを出力、測色することによって、色を補正するための「基準となる色」を記録します。

◆ デバイスプロファイルの保存 (P.29)

作成したデバイスプロファイルプロファイルを保存します。

デバイスプロファイルを作成する

フォーマットの選択

お使いの Raster Link に合わせて、デバイスプロファイルのフォーマットを選択してください。

RasterLinkPro ～ RasterLinkPro5 で使用できるプロファイルを作成したい場合

→ プロファイル (V2) を選択してください。

Raster Link Pro II Ver.3 以降の Raster Link シリーズの場合

→ プロファイル (V3) を選択してください。

プロファイル (V3) では、より高画質な出力結果が得られます。

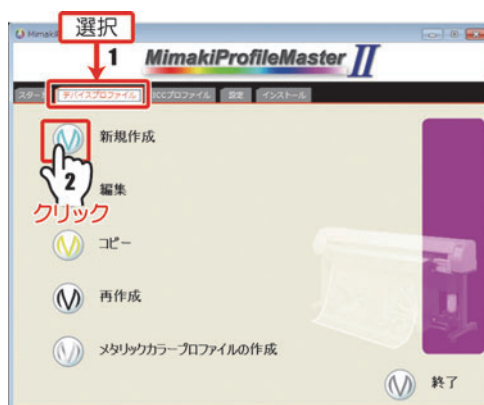


◆ 2012 年以降に発売の機種では V3 プロファイルのみ作成できます。

1

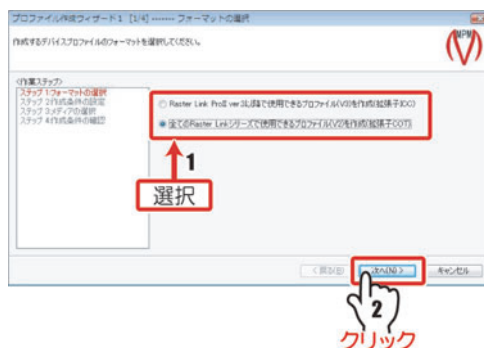
「デバイスプロファイル」タブを選択し、“新規作成”をクリックします。

プロファイル作成ウィザード 1 が表示されます。



2

お使いの Raster Link シリーズに合わせてフォーマットの選択をします。



3

「次へ」をクリックします。

フォーマットが選択されます。

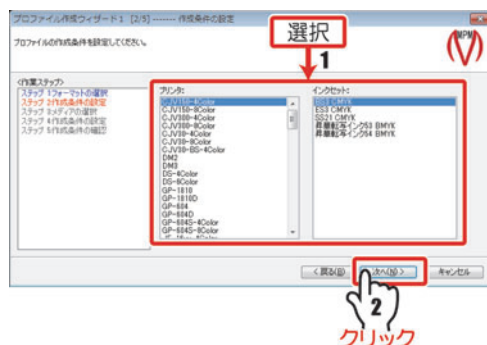
7 ページ「プロファイル条件の設定」へ続く ➡

プロフィール条件の設定

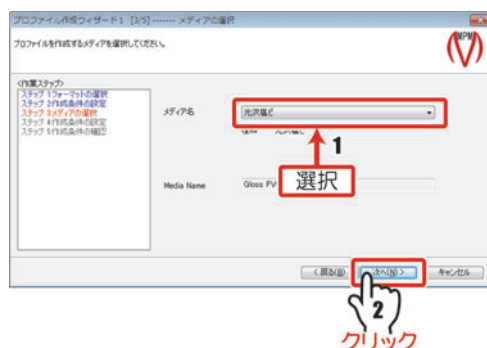
プロフィール作成に必要な条件と、使用するメディアの選択をします。

← 6 ページ「フォーマットの選択」から

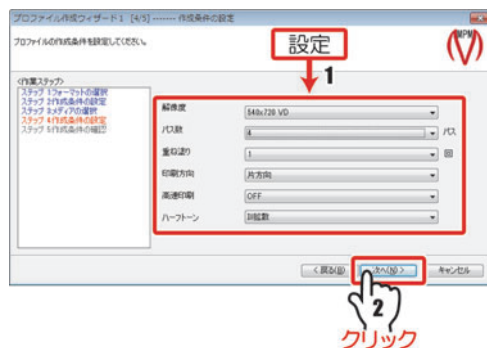
- 1 デバイスプロフィールを作成するプリンタ名、インクセットを選択し、**次へ**をクリックします。



- 2 メディア名を選択し、**次へ**をクリックします。



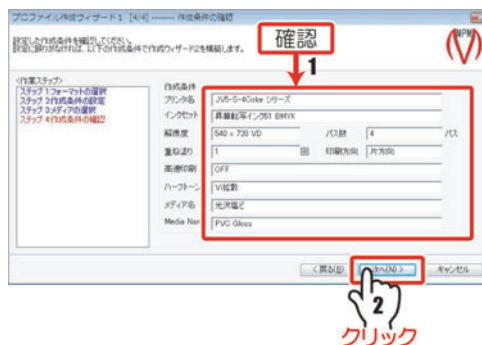
- 3 プロファイルの作成条件を設定し、**次へ**をクリックします。



4 設定した作成条件を確認します。

5 **次へ** をクリックします。

プロフィール作成ウィザード 2 が表示されます。



重要!

◆ プロファイル作成ウィザード 2 から、プロフィール作成ウィザード 1 へ戻ることはできません。プロフィールウィザード 2 に移ってからプロフィール条件を変更する場合は、**キャンセル** をクリックして、手順 1 からやり直してください。

9 ページ「メディア固有情報の設定」へ続く ➡

メディア固有情報の設定

必要な場合は、メディア固有情報（メディア補正值、ヒーター温度、ドットサイズ、メディア送り速度など）を設定します。

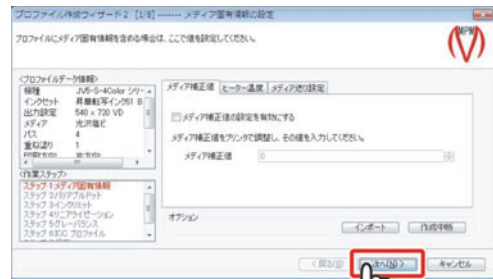
← 8 ページ「プロファイル条件の設定」から



◆ 詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

1

次へをクリックします。



クリック

10 ページ「拡張固有情報の設定」へ続



拡張固有情報の設定

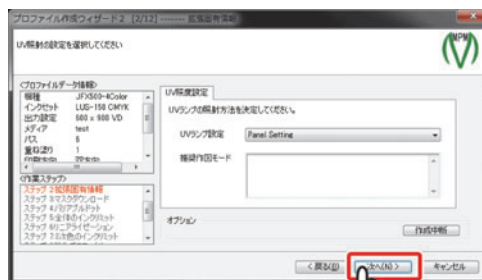
← 9 ページ「メディア固有情報の設定」から



◆ 詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

1

次へ をクリックします。



11 ページ「バリエブルドットの設定 (バリエブルドット選択時のみ)」へ続く ➡

バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)

重要!

◆バリアブルドットを含む解像度を選択していない場合は表示しません。
12 ページ「全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」または 14 ページ「インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)」に進みます。

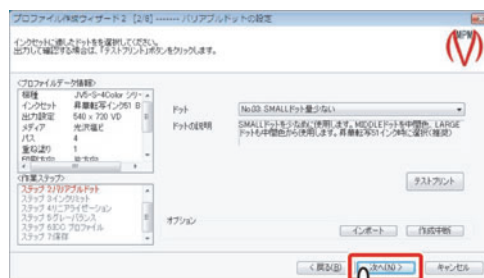
← 10 ページ「拡張固有情報の設定」か

1

次へ をクリックします。

選択したインクセットに最適なドットが表示されます。

選択されているドットの内容を“ドットの説明”に表示します。



プロファイル (V2) を選んだ場合

14 ページ「インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)」へ続く



プロファイル (V3) を選んだ場合

12 ページ「全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く



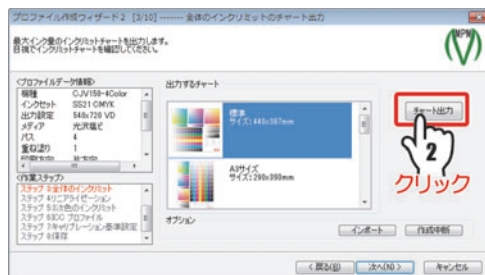
全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

← 11 ページ「バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)」から

1 **チャート出力** をクリックします。

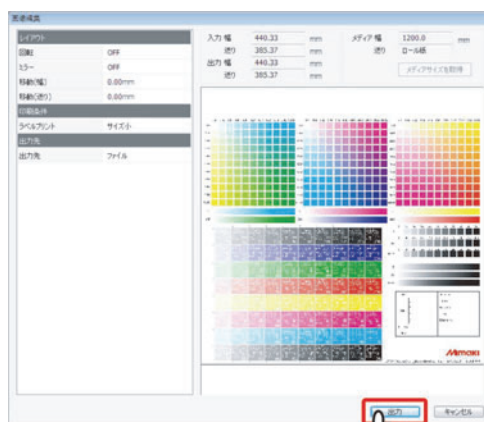


◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

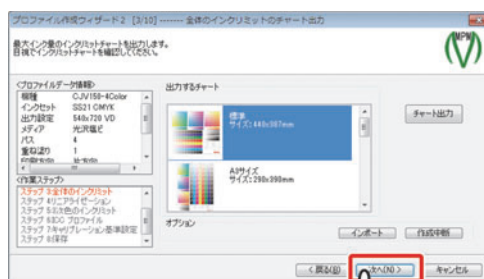


2 **出力** をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。



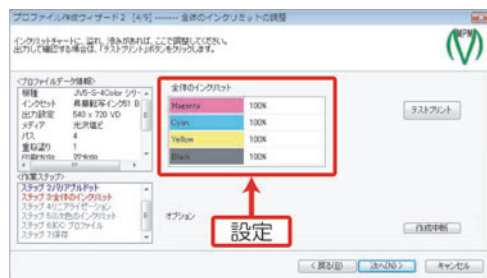
3 **次へ** をクリックします。



4 出力した画像から、各色のインクリミットを決定します。

5 全体のインクリミットを入力します。

各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。



6 テストプリントをクリックし、出力確認します。



- ◆ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。
- ◆ インクセットに CMYKOrGr を選択している場合、テストプリントはできません。

7 次へをクリックします。

16 ページ「ライトインク使用比率の設定
(ライトインク選択時のみ)」へ続く



インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)

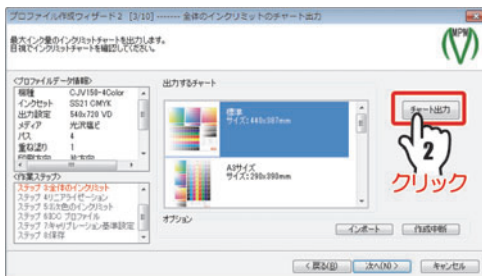
チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを設定します。

← 11 ページ「バリエブルドットの設定 (バリエブルドット選択時のみ)」から

1 チャート出力 をクリックします。

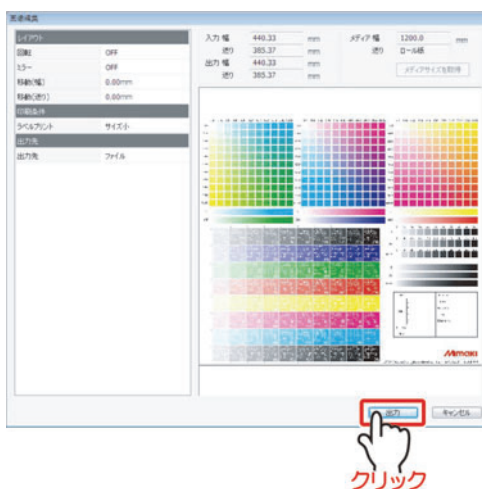


◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

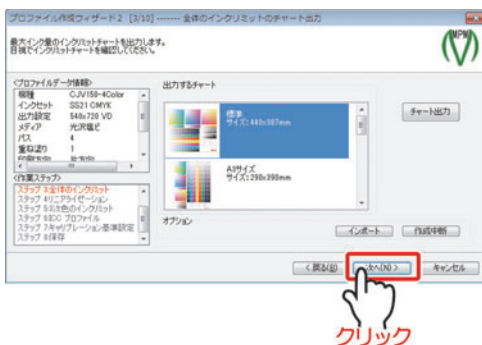


2 出力 をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。



3 次へ をクリックします。



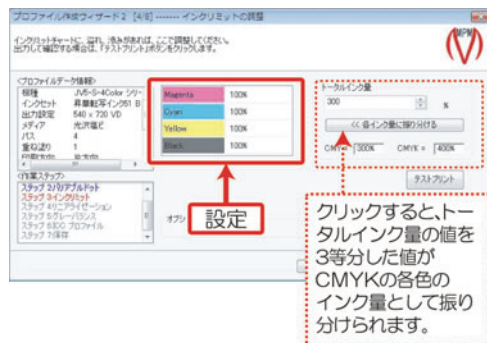
- 4 出力したチャートから3色（CMY）のトータルインク量を決定します。



CMY各色100%ずつ出力

- 5 インクリミットを入力します。

各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。



◆ 手順4で決めたトータルインク量をCMYK各色に均等に分配したいときは、**各インク量に振り分ける**をクリックしてください。トータルインク量を3等分した値が、CMYK各色のインク量として適用されます。

- 6 **テストプリント** をクリックし、出力確認します。



◆ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

- 7 **次へ** をクリックします。

16 ページ「ライトインク使用比率の設定
(ライトインク選択時のみ)」へ続く ➡

ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ）

重要！

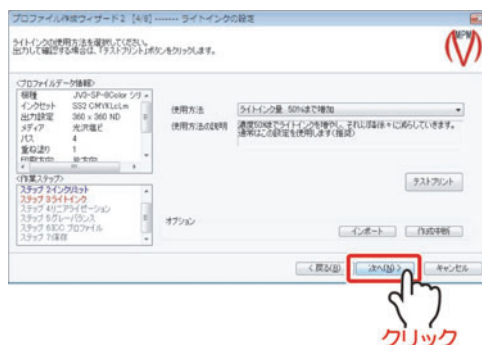
◆ ライトインクを含むインクセットを選択していない場合は表示しません。
17 ページ「リニアライゼーションの自動調整」に進みます。

← プロファイル (V2) を選んだ場合
15 ページ「インクリミットの設定（プロファイル (V2) を選んだ場合）」から

← プロファイル (V3) を選んだ場合
13 ページ「全体のインクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合）」から

1

次へ をクリックします。



17 ページ「リニアライゼーションの自動調整」へ続く ➡

リニアライゼーションの自動調整

チャートを出力し、測色することによって、インク各色の階調特性を自動調整します。
(ライトインクは、調整しません。)

自動調整された各色の単色のグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。

重要!

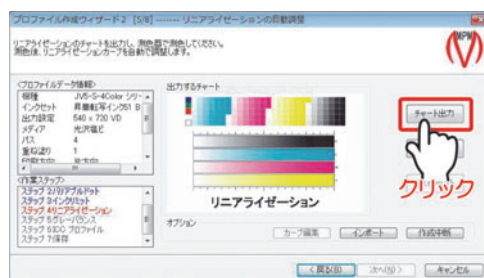
- ◆ インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値を測れないことがあります。
- ◆ プロファイル (V2) を選択した場合、長時間放置してもインクが乾かないときは、インクリミットを下げて再度測色チャートを出力してください。

← 16 ページ「ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)」から

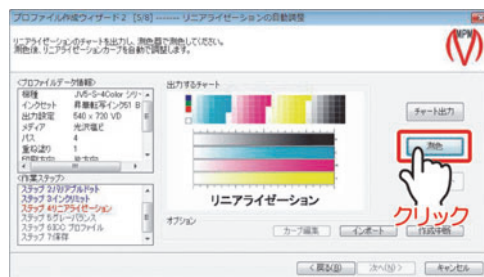
1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。



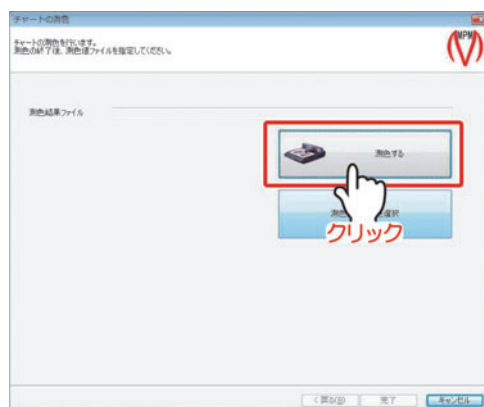
◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。



2 **測色** をクリックします。



3 **測色する** をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が
起動します。

5 測色します。



◆ 測色の詳細は、リファレンス
ガイドをご覧ください。



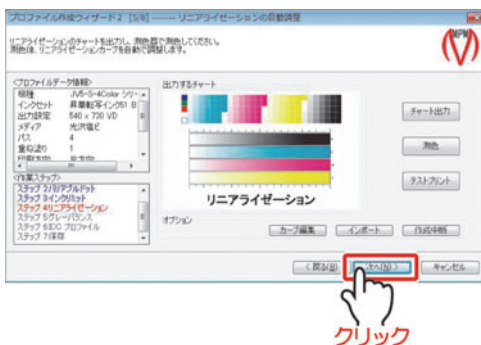
6 **チャート出力** をクリックし、測
色結果を確認します。

自動調整した結果を出力し、確認しま
す。



7 チャートの目視確認部で、各色のグラデーションがなめらかになってい
るかを確認します。

8 **次へ** をクリックします。



プロファイル (V2) を選んだ場合
21 ページ「グレーバランスの自動調整」へ続く ➡

プロファイル (V3) を選んだ場合
19 ページ「3 次色のインクリミットの設定 (➡
プロファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く

3 次色のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

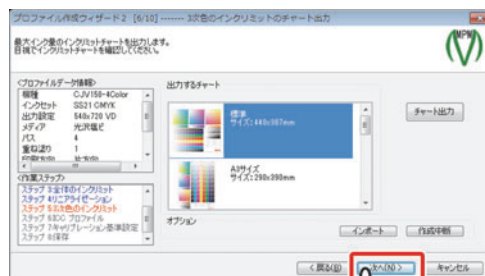
← 18 ページ「リニアライゼーションの自動調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。



◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

2 **次へ** をクリックします。



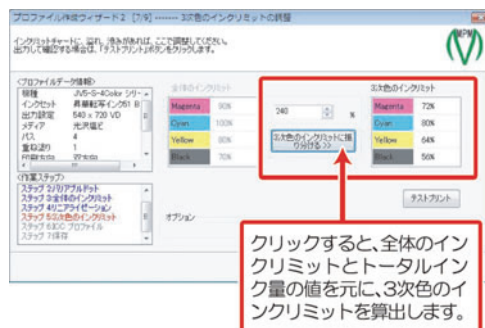
クリック

3 出力したチャートから 3 色 (CMY) の
トータルインク量を決定します。



CMY各色100%ずつ出力

4 3 次色のインクリミットを
決定します。



5

テストプリント をクリックし、出力確認します。



- ◆ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。
- ◆ インクセットに CMYKOrGr を選択している場合、テストプリントはできません。

6

次へ をクリックします。

プロファイル（V2）を選んだ場合

21 ページ「グレーバランスの自動調整」へ続く



プロファイル（V3）を選んだ場合

23 ページ「ICC プロファイルの作成」へ続く



グレーバランスの自動調整

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。

自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。

ライトインク、バリアブルドットは、CMYK 各色の構成色ととらえるため、調整しません。

重要!

- ◆CMYKOrGr のインクセットを選択している場合は表示しません。
23 ページ「ICC プロファイルの作成」に進みます。
- ◆インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値が測れないことがあります。

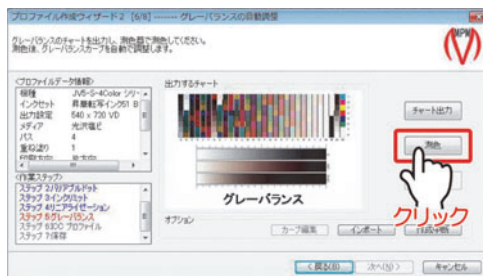
← プロファイル (V2) を選んだ場合
18 ページ「リニアライゼーションの自動調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。

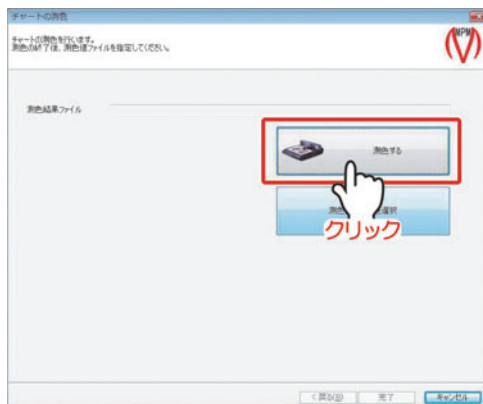


◆チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

2 **測色** をクリックし、出力したチャートを測色します。



3 **測色する** をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が起動します。

5 測色します。



◆測色の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

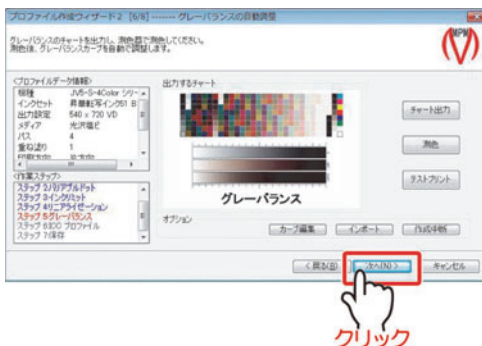


6 **チャート出力** をクリックし、自動調整した結果を出力します。



7 チャートの目視確認部で、各色のグラデーションがなめらかになっているかを確認します。

8 **次へ** をクリックします。



23 ページ「ICC プロファイルの作成」へ続く ➡

ICC プロファイルの作成

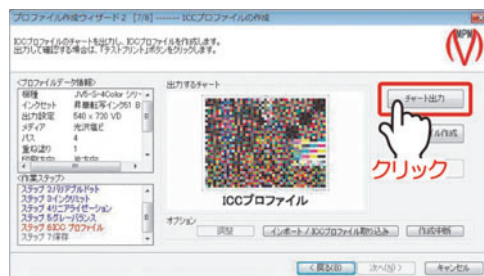
チャートを出力、測色することによって、ICC プロファイルの作成をします。
この項目は、Raster Link シリーズの「カラーマッチング」で、「ICM」を選択した場合に適用されます。

← 22 ページ「グレーバランスの自動調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。



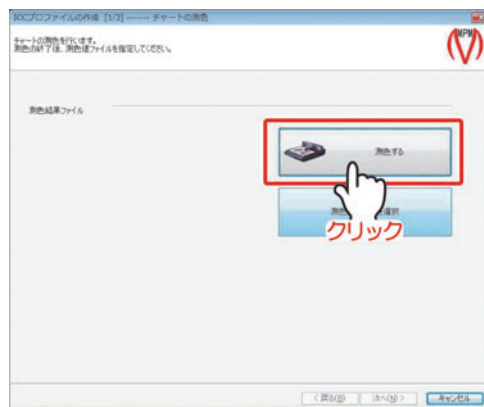
◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。



2 **ICCプロファイルを作成** をクリックします。



3 **測色する** をクリックします。



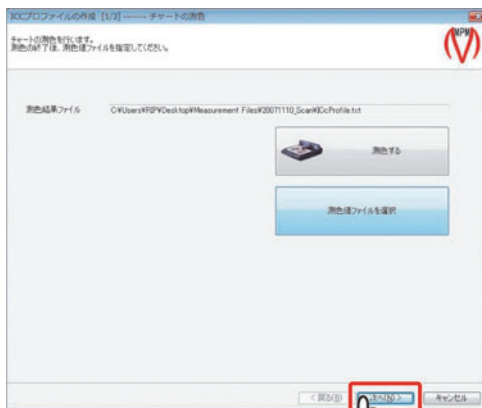
4 MeasureTool5.0 が起動します。

5 測色します。



◆ 測色の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

6 測色が終了したら、**次へ**をクリックします。



クリック

7 “プロファイルサイズ” と “グレーの色み” を設定し、**次へ**をクリックします。

● プロファイルサイズ

高精細：

“標準”より高精度なICCプロファイルを生成します（約3分）。ファイルサイズは約2MBです。粒状感の出やすい印刷条件で作成する場合に使用します。

標準：

短時間（約1分）でICCプロファイルを生成します。ファイルサイズは約700KBです。



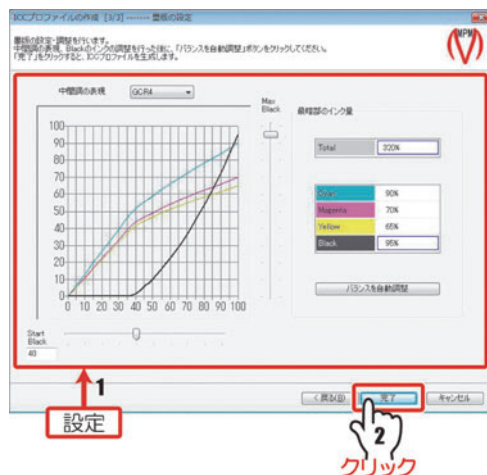
2 クリック

8 墨版の設定をします。

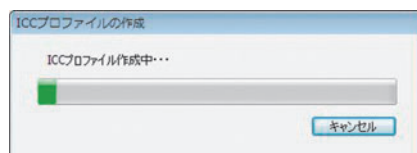


◆ 詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

9 完了をクリックします。



10 ICC プロファイルの作成を 始めます。



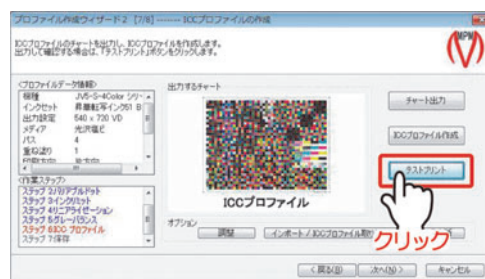
11 OK をクリックします。 プロファイル作成ウィザードに戻ります。



12 テストプリントをクリックして、 デバイスプロファイルの出力確認をします。

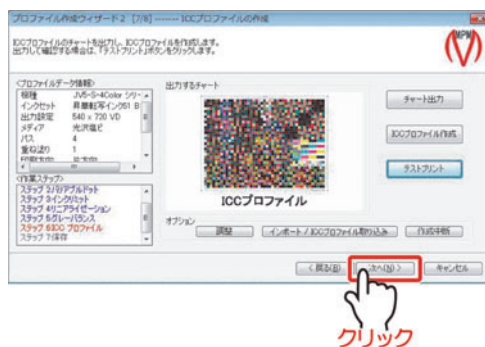


◆ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。



13

確認できたら、
「次へ」をクリックします。



プロファイル (V2) を選んだ場合
29 ページ「デバイスプロファイルの保存」へ続く ➡

プロファイル (V3) を選んだ場合
27 ページ「キャリブレーションの基準設定 (プロ
ファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く ➡

キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

様々な要因でプリンタの発色が変わってしまったときに、色を補正するための「基準となる色」を記録します。

キャリブレーション機能によって、変化してしまったプリンタの発色を、「基準となる色」に近づけるように補正します。



◆ 基準となる色をプロファイルに記録しておけば、温度変化やプリンタヘッドの調整などの要因によって発色が変わってしまっても、今回記録した状態に近づけるようにプロファイルを補正することができます。

重要!

◆ インクセットが CMYKOrGr の場合は表示しません。29 ページ「デバイスプロファイルの保存」に進みます。

← 26 ページ「ICC プロファイルの作成」から

1

チャート出力 をクリックし、測色用のチャートを出力します。



◆ チャート出力の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。



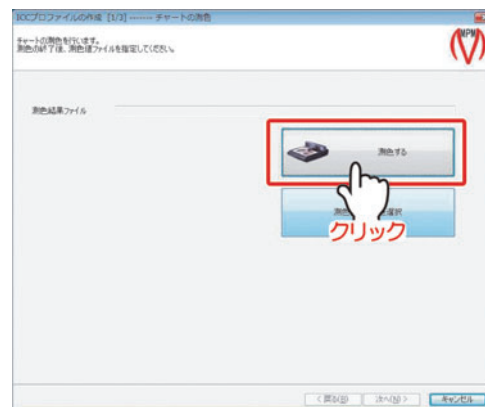
2

測色 をクリックし、出力したチャートを測色します。



3

測色する をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が起動します。

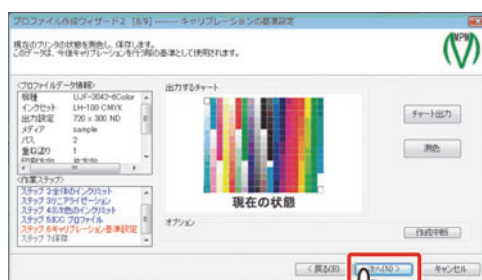


5 測色します。



◆ 測色の詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

6 測色が終了したら、
次へ をクリックします。



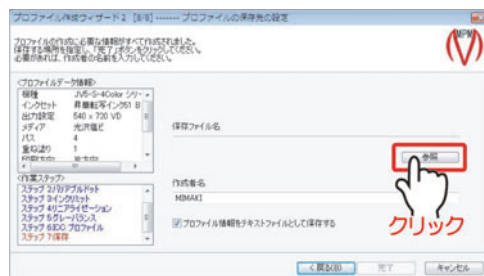
29 ページ「デバイスプロファイルの保存」へ続く ➡

デバイスプロファイルの保存

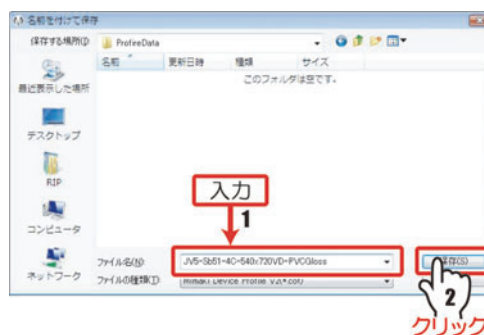
作成したデバイスプロファイルを保存します。

◀ 26 ページ「ICC プロファイルの作成」から

1 **参照** をクリックします。



2 ファイルの保存先を指定し、
ファイル名を入力します。

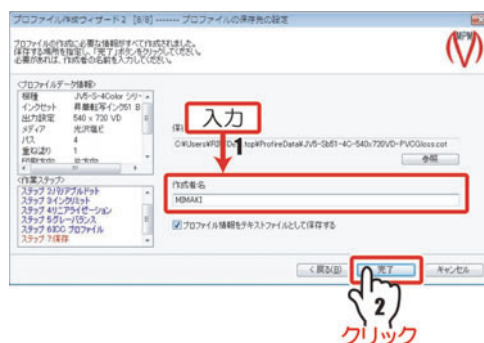


3 **保存** をクリックします。

「プロファイル作成ウィザード」に戻ります。

4 作成者名を入力します。

日本語環境以外で使われるプロファイルには、日本語を入力しないでください。



5 **完了** をクリックします。

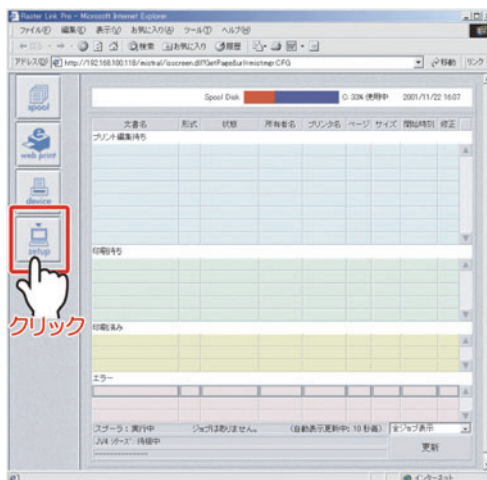
デバイスプロファイルの作成が完了し、メインメニューに戻ります。

Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする

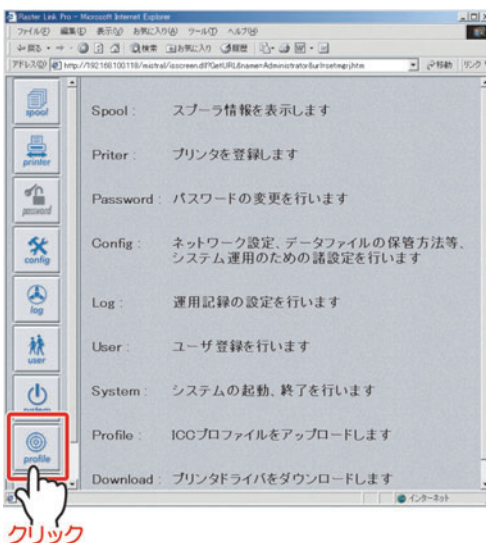
作成したデバイスプロファイルを Raster Link Pro にインストールします。

1 MPM II が終了していることを確認し、Raster Link Pro を起動します。
spool 画面を表示します。

2 **setup** をクリックします。

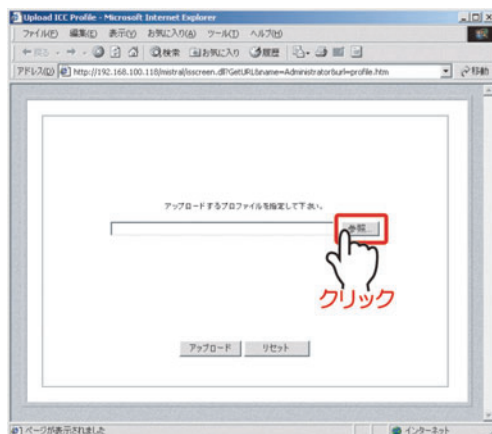


3 **profile** をクリックします。



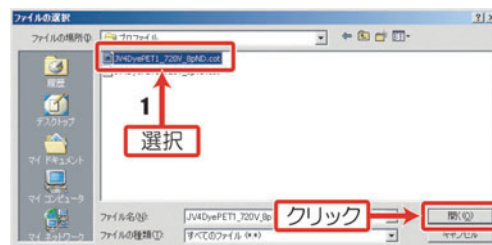
4

参照 をクリックします。



5

追加したいデバイス
プロファイルを選択します。

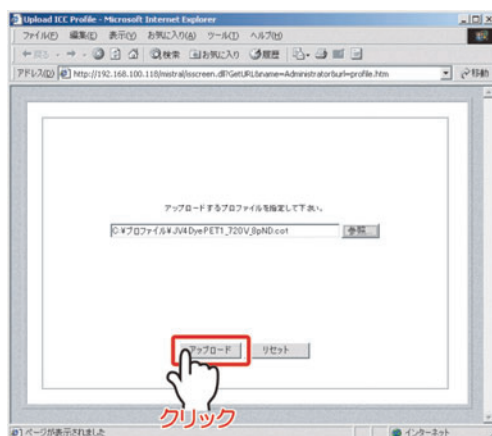


6

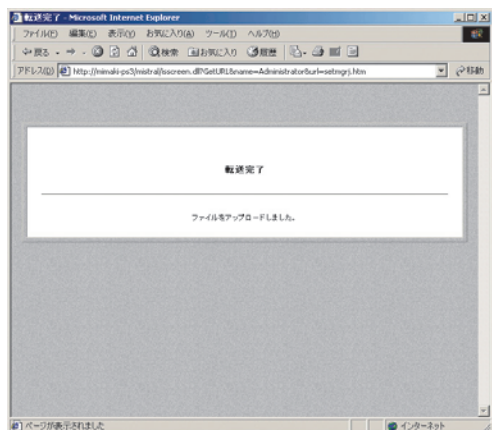
開く をクリックします。

7

アップロード をクリック
します。



転送完了の画面になります。



8

PC を再起動します。

デバイスプロファイルのインストール
が完了します。

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズへの プロファイルのインストール・アンインストール

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールする

ProfileManager を使って、Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにプロファイルをインストールします。

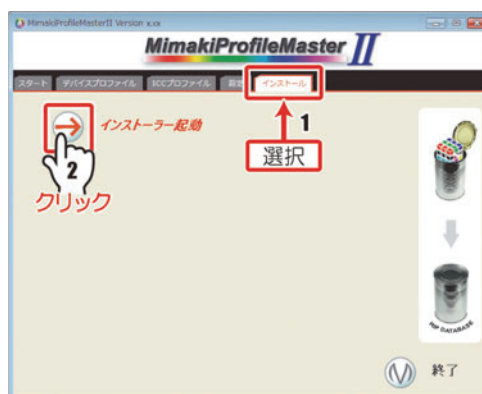
重要!

- ◆ “ProfileManager” 起動中は、MPM II を使用できません。
- ◆ インストール候補で表示するプロファイルの拡張子は、デバイスプロファイルと入力プロファイルで異なります。
デバイスプロファイルの場合.cot または、.icc ファイル
入力ファイルの場合.icc または、.icm ファイル



1

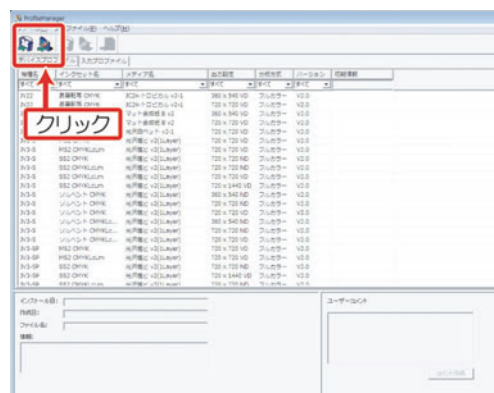
[インストール]タブを選択し、“インストーラー起動”をクリックします。

ProfileManager が起動します。



2

デバイスプロファイルをインストールする場合は  を、
入力プロファイルをインストールする場合は  をクリックします。

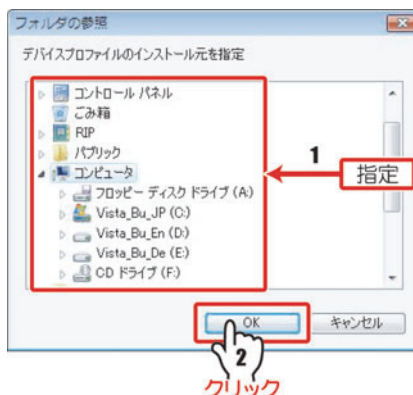


“フォルダの参照” ウィンドウが表示されます。

3 プロファイルが保存されているフォルダを指定します。



◆ プロファイルをひとつのフォルダに保存しておくと、インストールが1度で行え、便利です。



4 OKをクリックします。

“インストール候補” ウィンドウが表示されます。



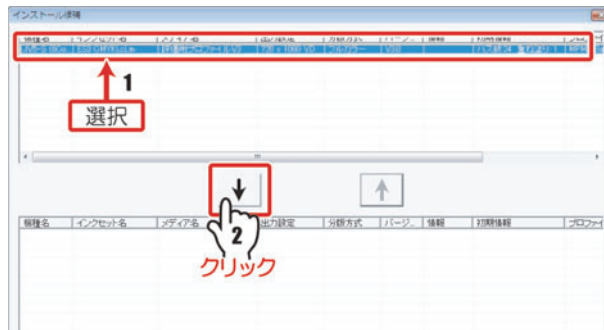
◆ 指定したフォルダに対象となるプロファイルがない場合、エラーメッセージを表示します。

5 インストールするプロファイルを選択します。



◆ 複数を選択する場合、Ctrl キーを押しながら選択します。

選択したプロファイルが青色に反転します。



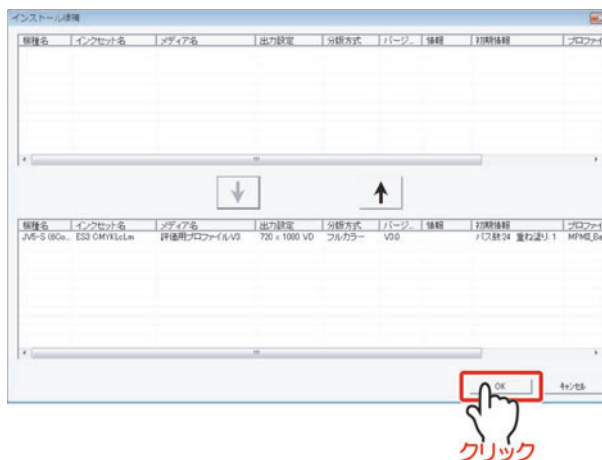
6 ↓をクリックします。

選択したプロファイルが上のリストから消え、下のリストに表示します。

7 **OK** をクリックします。



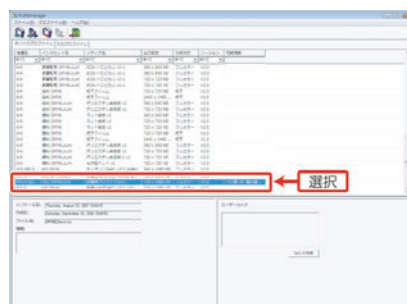
◆ リストに同一設定のプロファイルがある場合、上書きの確認ダイアログが表示されます。



右のダイアログが表示されます。

8 **OK** をクリックします。

ProfileManager のリストに追加したプロファイルが表示され、プロファイルのインストールが完了します。



◆ デバイスプロファイルをインストールした場合は [デバイスプロファイル] タブに、また、入カプロファイルをインストールした場合は、[入カプロファイル] タブにインストールしたプロファイルを表示します。

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからプロファイルをアンインストールする

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールしたプロファイルをアンインストールします。



◆ デバイスプロファイルと入力プロファイルのアンインストール方法は同じです。

1

[インストール]タブを選択し、“インストーラー起動”をクリックします。

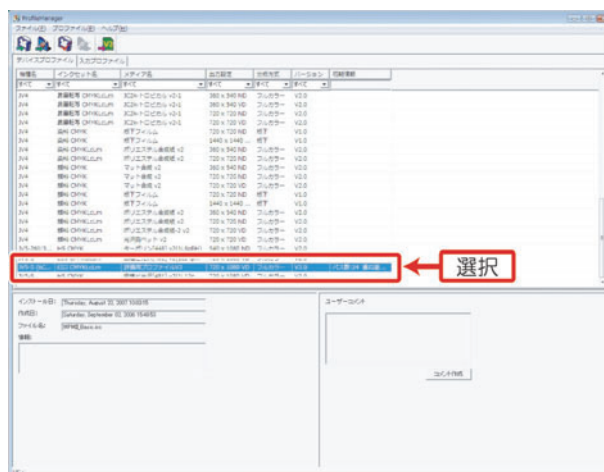
ProfileManager が起動します。





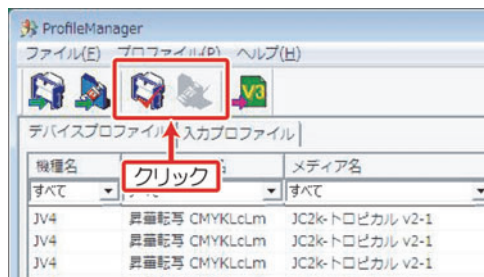
2

[デバイスプロファイル]または、[入力プロファイル]にあるリストから、アンインストールしたいプロファイルを選択します。

選択したプロファイルが青色に反転します。



- 3 デバイスプロファイルをアンインストールする場合は  を、
入カプロファイルをアンインストールする場合は  を
クリックします。



確認のダイアログを表示します。

- 4 はい をクリックします。



右のダイアログを表示します。

- 5 OK をクリックします。

ProfileManager のリストからアンインストールしたプロファイルが削除され、プロファイルのアンインストールが完了します。



